

## 若者へのゴミ分別啓発!!

メンバー数：9名 活動場所：伊勢市  
 実施主体：伊勢市 環境生活部 清掃課  
 担当教員：筒井 琢磨（現代日本社会学部）  
 活動年度：R1

・打ち合わせ（4日、18日）  
 ・倉陵祭（26日、27日）

・反省会（8日）

2019

10

11

## 【1】今年度の活動を振り返って（成果と課題）

私たちはゼミの活動の一環としてこの CLL 活動に参加した。CLL 活動の内容としては、高校生、大学生、市役所の清掃課の3つの団体と一緒に啓発活動の方法を話し合い、皇学館大学の倉陵祭で、学生らへゴミの分別や減量化の啓発活動を行った。三者で話し合う機会は多くはなかったものの、当日は協力し合い啓発活動ができたと考える。成果としては二日間で200人以上の方にアンケートに協力していただけたことができた。その背景には市役所の方に着ていただいた伊勢市のゴミ分別PRキャラクターである「かもしかのごみバスターズ」の着ぐるみによる集客効果でたくさんの人に利用してもらうことができた。またガチャガチャを設置することで幅広い年齢層に楽しんでもらうことができた。ガチャガチャの景品として「かもしかのごみバスターズ」のマグネットや缶バッチを伊勢市の清掃課に用意していただいた。参加者からは「かわいい。」などの声をいただいた。

反省点としては Reduce(リデュース)Reuse(リユース)Recycle(リサイクル)Refuse(リフューズ)Repair(リペア)という5Rについてのパネルを作成したもののテストの後方に設置したため人の目につきにくかった、5374アプリをPRすることができなかった、ガチャガチャのカプセルを開ける手間がかかり効率的ではなかった。

改善点としたアプリを知ってもらうために、クイズに参加していただいた人に説明およびQRコード付きのチラシを配る、カプセルの中を商品ではなく紙にすることで手間を省き効率化を図るなどといった点が見つけられた。

## 【2】アピールしたいポイント

アピールポイントは、高校生、大学生、伊勢市清掃課の三者の積極的な呼びかけにより結果、イベントには2日間で200人以上の参加者を集めることができ、初年度として成功した点である。また、高校生や伊勢市の清掃課さんとコミュニケーションをとることで良き交流の機会となった。

## 【3】実施主体様からの声

伊勢市清掃課、宇治山田商業高校、皇学館大学の官高大連携により、倉陵祭での「ゴミ分別」をPRするイベントを共催した。

伊勢市はゴミの排出量が県内14市の中でワースト2位であり、ゴミの削減が地域の問題となっている。特に若者のゴミ分別が不十分であることもあり、学園祭で集まる若者に向けて資源ゴミの分別やリサイクルの必要性をPRするイベントを企画することとなった。

9月より3者が宇治山田商業高校へ集まり、イベント内容や役割分担を協議して当日を迎えたが、イベントには2日間で200人以上の参加者を集めることができ、初年度として成功だったと考えている。

イベントに際して、皇大生がテントの設営から会場準備、参加者の呼び込みも中心となっていただき、高校生のお手本となってもらった。